

各 位

会 社 名 ピープル株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子
 (東証 JASDAQ コード 7865)
 問合せ先 IR 担当 飛田留美子
 電話 03-3862-2768

平成 31 年 1 月期第 1 四半期連結累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 3 月 5 日付当社「平成 30 年 1 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成 31 年 1 月期第 1 四半期連結累計期間(平成 30 年 1 月 21 日～平成 30 年 4 月 20 日)の業績予想値と本日公表致しました平成 31 年 1 月期第 1 四半期連結実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 1 月期 第 1 四半期連結累計期間業績予想値と実績の差異
 (平成 30 年 1 月 21 日～平成 30 年 4 月 20 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半期 純利益(百万円)	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A) (平成 30 年 3 月 5 日発表)	898	73	73	51	円銭 11.55
今回実績 (B)	941	107	105	70	16.06
増減額 (B-A)	43	34	32	19	
増減率	4.8%	46.3%	43.3%	39.0%	

2. 差異の理由について

当 42 期の第 1 四半期では、翌第 2 四半期に当る 5 月度からの一時的な出荷前倒しにより、売上高は期初予想に対し 43 百万円程上回り、第 1 四半期連結売上高は 9 億 41 百万円となりました。国内販売では、好調な知育カテゴリー等に GW 商戦直前の 4 月度で想定以上の積み込み受注を受け、海外販売においても翌 5 月度の月境にあった出航分の一部が当四半期に前倒されました。売上高の増加に伴い売上総利益増が営業利益に反映した為、営業利益は 1 億 7 百万円となり、予想対比 46.3%増となりました。これらはトレンドの変化というより翌第 2 四半期の前倒しの範囲と見ており、第 2 四半期業績予想は当該前倒し分を差し引いて予想し、本日同日付けで発表しております「平成 31 年 1 月期第 1 四半期決算短信(連結)」に第 2 四半期累積予想を開示しておりますのでご参照下さい。

以上